

◆パウダータイプ



パウダーを取る量は、スポンジの半分。これで、顔半分を塗っていきます。スポンジを持つ手は3本。人差し指と中指をスポンジの背に添え、親指で挟んで持ちます。パウダーを取る時は、押し付けるのではなく、滑らせるように取りましょう。

① 顔全体にのぼす。

顔の中心●しっかりカバーゾーンを内側から外側に向かってのぼします。

▼ 頬(キメ・毛穴の気になる部分)は、片手で肌を引っ張りながら部分的に押さえます。

② 部分に応じたつけ方を。

①の残りの粉を利用してつけていきます。

上まぶた…目を閉じて眉を指で引っ張りながら優しくつけます。

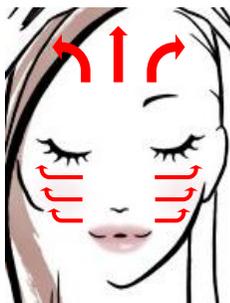
下まぶた…目線を上に向け、下まつ毛の際までごく少量をつけます。コンシーラーなどを使用している場合は、やさしくたたくように。

小鼻・口の周り…厚塗りするとひび割れしやすい部分なので、スポンジの角を使って、いろいろな角度から押さえるように薄くつけます。

③ フェイスラインをぼかす。

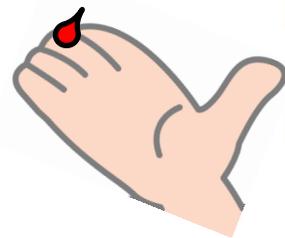
スポンジを裏返し、キレイな面でぼかすと、より自然で立体的な仕上がりになります。生え際は、ジグザグに動かすことで、キレイにぼかすことができます。

最後に、つけ残しがないかチェックしましょう。



◆クリーム・リキッドタイプ

クリーム・リキッドタイプの使用量は、「少なすぎるかな?」と感じる位控えめにとりましょう。足りない時には後から付け足せばOK!! 使う指は、どんな場面でも「中指」!! 最も長い指で、器用なので、微かな力の加減がしやすいです。人差し指は力が入り過ぎてしまうので、厚塗りになってしまうことも…。



① 顔の広い部分から。

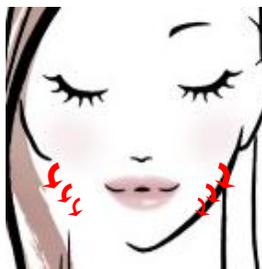
パウダータイプと同様に、しっかりカバーゾーンからつけていきます。内側から外側に向かってのぼしていきます。

▼ 指先だけでつけるのではなく、指の腹全体を使うようにしましょう。



② フェイスラインをぼかす。

何もついていない指先やスポンジを使って、フェイスラインと生え際をぼかしていきます。



③ 細かい部分を仕上げる。

指先に残った程度の少量のファンテーションで目元、鼻、口周りの細かい部分になじませます。



キレイに差をつけるワンポイント!!

フェイスパウダーを仕上げに使うとよりキレイに!! パフにパウダーをよくなじませ、下から上に押さえるようにつけていきます。余分なパウダーは仕上げブラシで、内側から外側に向かって払い落とします。最後に、手の甲で肌に触れ、ベタつかないことを確認しましょう。

ポイントを押さえて肌美人をめざしましょう!!

広中央店 岡家